DRUG INFORMATION

２０１３　Ｎｏ．２　　平成２５年１月３０日発行

リュープリン、ゾラデックスのオーダ名を一部変更します！

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
（内線７０８３）

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp（担当：安田）

リュープリン、ゾラデックスのオーダ名を一部変更します！

当院では、LH-RH アゴニスト製剤として、**リュープリン製剤**(リュープロレリン酢酸塩)と**ゾラデックス製剤**(ゴセレリン酢酸塩)がそれぞれ数規格ずつ採用されています。これらの薬剤は、規格によって適応が異なり、婦人科疾患(子宮内膜症、子宮筋腫等)に使用する場合と悪性腫瘍(閉経前乳癌、前立腺癌)に使用する場合があるため、注意が必要な薬剤です。

先日、子宮筋腫の患者に初めてリュープリン製剤が投与されるにあたり、本来であれば**「リュープリン注射用 1.88」**をオーダすべきところを、**「リュープリン SR 注射用キット 11.25」**をオーダし投与されてしまったとの事故が報告されました。実に通常の 6 倍の薬剤が投与されたこととなります。SR 製剤は悪性腫瘍に適応を有するため、処方時に『薬品名、用法、用量を再度確認して下さい。』と警告メッセージを表示するようにしていますが、今回のようにメッセージの見落としにより処方されてしまうケースもあり、更なる対策が必要であるとの意見が挙がっております。

そこで、処方ミス防止対策として、各薬品名の頭にそれぞれの疾患種別を示す接頭語を付与することと致します。具体的には下記に示す通り、婦人科疾患の適応のある薬剤には**〈婦〉**を、悪性腫瘍の適応のある薬剤には**〈化〉**を付与します(**〈化〉**については、他の抗悪性腫瘍剤は既に処方履歴欄へ(**化**)と表示しており、表記の統一を図るため)。

	【適応】	
【名称変更後のオーダ名】	婦人科疾患	悪性腫瘍
〈婦〉リュープリン注射用 1.88mg	○	
〈婦〉リュープリン注射用キット 1.88mg	○	
〈婦化〉リュープリン注射用キット 3.75mg	○	○
〈化〉リュープリンＳＲ注射用キット 11.25mg		○
〈婦〉ゾラデックス 1.8mg デポ	○	
〈化〉ゾラデックス 3.6mg デポ		○
〈化〉ゾラデックスＬＡ10.8mg デポ		○

オーダ名の変更は、**２ 月 １ 日(金)**からとします。変更後は、規格だけでなく接頭語にも十分注意して薬品名を選択しオーダして下さい。なお、DO 処方時の場合でも再入力等の必要はありませんが、名称変更の際はご留意下さい。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。